

旧校舍活用で 雇用拡大を図る



利活用がもたれる旧及位中学校

平成25年度真室川町一般会計補正予算
旧及位中学校用地調査等委託料

問 町として企業誘致の感覚で、この企業がほかの町へ行かないように、手厚く応援してはどうか。

町長 (行政側の) 人が変わって対応が変わると困るから貸与ではなく有償譲渡を、との強い意向。県総合支庁とも相談し、公平性も確保していきたい。

と困るから貸与ではなく有償譲渡を、との強い意向。県総合支庁とも相談し、公平性も確保していきたい。

農林水産業創意工夫プロジェクト支援事業費補助金

問 事業費の内訳は。

産業課長 甚五右衛門芋を活用した6次産業

戦略的園芸産地拡大支援事業費補助金

問 事業費の内訳は。

町長 色彩選別機は価格的に有利になる。特栽米は補助しても値段で有利になっていない、もっと販売で頑張らなければ、と段階的にやっていた。その点を強化すればやっていける。推移を見ながら検討していく。

化推進事業。農家民宿として廃屋をリフォーム活用、3室5人程度宿泊可能に。合わせて自宅小屋を活用して加工場。色彩選別機はブランド米確立に向け、カラムン被害を取り除き一等米比率を高める。農協は「生産者手取りの拡大に結びつけていきたい」と言っている。町も農協と一緒に販売戦略を考えていく。

産業課長 野菜生産組合が取り組む事業への補助。枝豆部会へはラジコン動噴1台。ウルフ部会はいパイハウス1棟と掘取り機1台、管理機1台。ミツバ部会には掘取り機1台、ふきのとう部会はいパイハウス1棟と掘取り機1台。

※はいパイハウスは今年度から建設費を補助に拡大された。

プレミアム付商品券発行事業費補助金

問 お盆用と考えているのか。

産業課長 町の商店街協同組合が地元小売店の購買強化を図りたい、と意欲的に動いてきた。夏から冬にかけて継続的に商店街、地域経済の活性化を図っていきたい。

※年末の商品券への補助も継続。



破損した梅里苑屋根

問 修繕だけか。今後の豪雪対策は含んでいるのか。

産業課長 遊具は一部改修。屋根は自然落雪しやすく、専門家の意見も踏まえながらすすめる。

梅里苑修繕料

問 遊具の件で、現場を見ると腐食している。管理不適では？

産業課長 主要柱は壊れるまでの状態は確認されず。破損は大雪によると考える。計画的に更新する必要がある。十分に管理を行っていた。

災害に備えて 消防ポンプ配備

6月
定例会

6月定例会は6月3日～5日までの3日間の会期で開かれました。
条例・補正予算など5議案を慎重に審議し、それぞれ原案のとおり可決・承認されました。

◇町子ども・子育て会議条例

(子ども・子育て支援法の規定により子ども子育て支援事業計画の作成にあたり、審議機関の設置が必要)

問 委員の選抜基準はどう考えているのか。

福祉課長 地域推進委員会の中の次世代育成支援部会の規定が変わり移行するので、現在の委員と新たに公募を含む趣旨をご理解いただける方を選任したい。

◇町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正 (法律の一部改正に伴うもの)

問 町外でゲリラ豪雨などの自然災害に巻き込まれた場合、また町で豪雪対策本部を設置しないと雪害は対象にならないのか。

総務課長 自然災害で一市町村で住居が5世帯以上滅失した場合や、県内で災害救助法が適用された市町村がある場合に対象になる。

◇社会資本整備総合交付金事業小型動力ポンプ等購入契約の締結

問 現状配備の更新か、新規に配置か。軽積載車が増えているが経費を考えてそうしているのか。



小型動力ポンプと軽積載車

◇国土調査の誤りに起因する損害賠償

問 損害賠償の原因は何か。

町民課長 昭和50年の

ストを考えた場合、軽積載車が良いと思うが、安心の面も考えて今後の配備計画について、消防団幹部と今年度検討する。

国土調査で誤って土地を認証した。Aさんが自己の山林の調査のため森林組合を通じて調査、山林の重複が判明。Aさんから町に対して国土調査の誤りに関する損害賠償として売買相当額と固定資産税の賠償の請求があった。

問 再発の防止策について再考は。

町民課長 町全体では地籍が7万筆あり今後も再度調査を行う体制の強化を実施する。

問 責任のありかたについてどのように考えているのか。

町長 故意的にやったことではないので弁償責任はできない。

総務課長 町長は処分内容を決める立場ではないので私が答える。処分審査会の中で検討して、町長に上申して判断を仰いでいくことで御理解を頂きたい。